

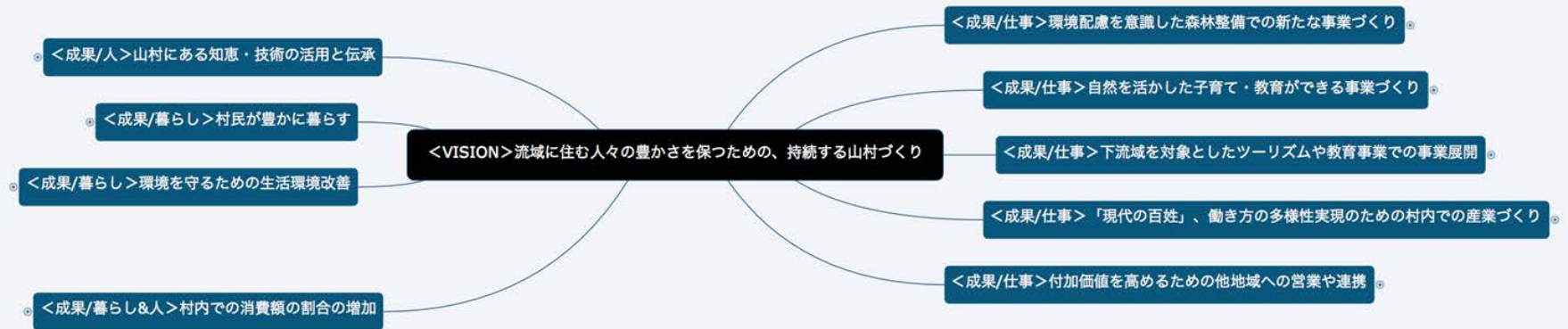
環境で地方を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業  
**成果報告会 発表資料**

活動地域 : 長野県下伊那郡根羽村  
NEVER FOREST PROJECT

活動におけるテーマ・キャッチコピー

流域に住む人々の豊かさを保つための、持  
続する源流の山村づくり

# 地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿



# 地域のビジョンを実現するための成果指標

流域に住む人々の豊かさを保つための、持続する山村づくり

短期目標

長期目標

環境

木質チップ製造体制の確立

木質チップ関連での  
売上向上

持続する森づくりの実施

環境林の整備面積

経済

根羽の木育事業による売上数

森林教育関連の売上

根羽村の村づくりに共感する  
企業とのパートナーシップ

流域間連携事業の組織売上

社会

流域沿いの子供の教育事業での受入人数

森林教育の場としてのプラットフォーム

流域間連携事業検討主体の組織化

流域間連携事業の組織雇用

# コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

1	事業の名称	木質チップ関連の商品開発と販売	
	事業の概要	現状は商品活用できていない木材の部分を活かして木質チップ化を図る。その際に、木質バイオマスとしての利活用のみならず、他の事業展開も見込む。繊維化し日常用品への転用、ガーデニングや、山の整備への活用などが想定される	想定される課題・ボトルネック 商品の販売開拓を行う営業担当
2	事業の名称	働き方の多様性を実現するテレワーク事業	
	事業の概要	地域内の仕事では選択肢が少なく、働き方の選択肢も少ないため、特に子育て世代のママが子育てと労働のバランスに悩んでいる。時間や場所にとられない働き方の選択肢をテレワークを通じて提供したい。	想定される課題・ボトルネック 施設の整備
3	事業の名称	森林環境教育のエコツーリズム事業	
	事業の概要	矢作川の水を守るために、1人1人の川に対する意識の向上、および環境課題を解決するための人材育成が必要となる。根羽村には場、体験コンテンツ、人がすでにいるため、これらをエコツーリズム事業として展開し、流域の教育機関や企業と連携しながら進めていく。	想定される課題・ボトルネック 受け入れ体制の人材教育

# 今年度事業の成果と課題、今後の意気込み

## 今年度の成果

(本事業に取り組んで良かったこと)

- 20,30代の若手主体となってワークショップを行い、これまでの村づくりを支えてきたステークホルダーに応援していただける体制を作れた
- 村内メンバーについては、どちらかといえば個々での取組が多かったが、今回の意見交換により情報共有と今後の協働のきっかけができた  
村外メンバーについては、改めて村に対する意識を把握することができた。高齢メンバーと若手メンバーの場ができた。

## 地域の活動の上での課題

- 地域体制の見直し
- 協同シナジーが生まれるための情報共有体制の確立
- 役場と連携しながら、スピード感を持って村づくりを推進していく中間組織
- 働き方の多様性が実現できるフィールド

## 今後の意気込み

- 若者主体の中間組織の立ち上げ
- 役場含む組織の構造・運営体制の改善
- 情報共有スキームの改善